

地域のみなさま、
科学部保護者のみなさま、

塩尻市立丘中学校長 湯本正芳

金環日食観測記念日時計を見る会 開催のお知らせ

若葉の緑が目にも染みる爽やかな季節となりました。皆様には益々ご健勝のことと拝察申し上げます。また、日頃より本校の教育にご理解とご協力を賜りますことに心より感謝申し上げます。

さて、本校に設置されております「金環日食観測記念日時計」の「観測時刻を示す光」を見て、科学に親しんでいただくイベントを計画いたしました。科学を身近に感じていただく機会としていただくとともに、本校教育についてご理解いただければ幸いです。考え、下記のようにご案内申し上げます。

記

1. 趣旨と概要

丘中学校の図書館のベランダには、2012年の金環日食を全校生徒が観測し、限界線付近での日食の見え方について明らかにしたことを記念する日時計が設置されています。この日時計は、毎年5月21日の朝7時34分頃（2012年の日食の中心の時刻）になると、ペイリービーズをデザインした金属球が光るように設計されています。今年も、この光るビーズを見る会を行うとともに、「太陽の南中時刻や南中高度の観測からケプラーの第2法則を独自に見つける」「季節によるクモの分布の変化の研究」など、科学部でこの7年間に積み上げられてきた研究活動の発表を、実験とともに楽しんでいただく機会といたします。



2. 日時・場所 令和元年5月19日（日）

7：20～ 7：50 ビーズを見る会： 丘中学校 生徒玄関前の庭（雨天時は理科室）
発表 「金環日食の観測から、太陽の位置観測、そして日時計へ」
8：00～ 9：20 科学工作： // 第一理科室
9：30～10：30 科学部研究発表： // 第一理科室
11：45（11:00～12:00）・・・晴れていれば、圭表儀の観測をご覧ください。

3. 内容

(1) 科学実験・工作・・・「月球儀をつくる」

・直径10cmの月の模型を作ります。本物の3500万分の1。観望会などに参加したときに、望遠鏡で見た月と見比べながら楽しく観望することができます。

※工作の内容は変更になる場合がありますので、あらかじめご承知おきください。

(2) 発表

【天文班】 圭表儀で太陽の動きを測る

- ・祖沖之の法（昔の中国で発明された方法）で、太陽の南中時刻と子午線を求める
- ・圭表儀で太陽の南中時刻を求める ～江戸時代の観測機器でケプラーの第2法則を検証する～

【水溶液班・結晶班】 ものの溶け方

- ・溶ける量に限度があるのはなぜか。～水溶液の濃度と分子やイオンの間の距離～
- ・水の蒸発と結晶の成長～ビーカー内の位置によって結晶のでき方に違いはあるか～

【生物班】 丘中にあるクモ

- ・異なる種類のクモはどのように「共存」しているのか
- ・クモの生息数の季節による変化

※ 前半は口頭発表。後半はポスター発表をします。



4. 参加費は不要です

5. 申し込み：不要です。当日、会場にて受付をしてください。

この件についてのお問い合わせ
教頭 竹腰益臣
科学部顧問 宮下和久
電話 塩尻市立丘中学校
0263-52-8973
Email: joka@oka-j.ed.jp